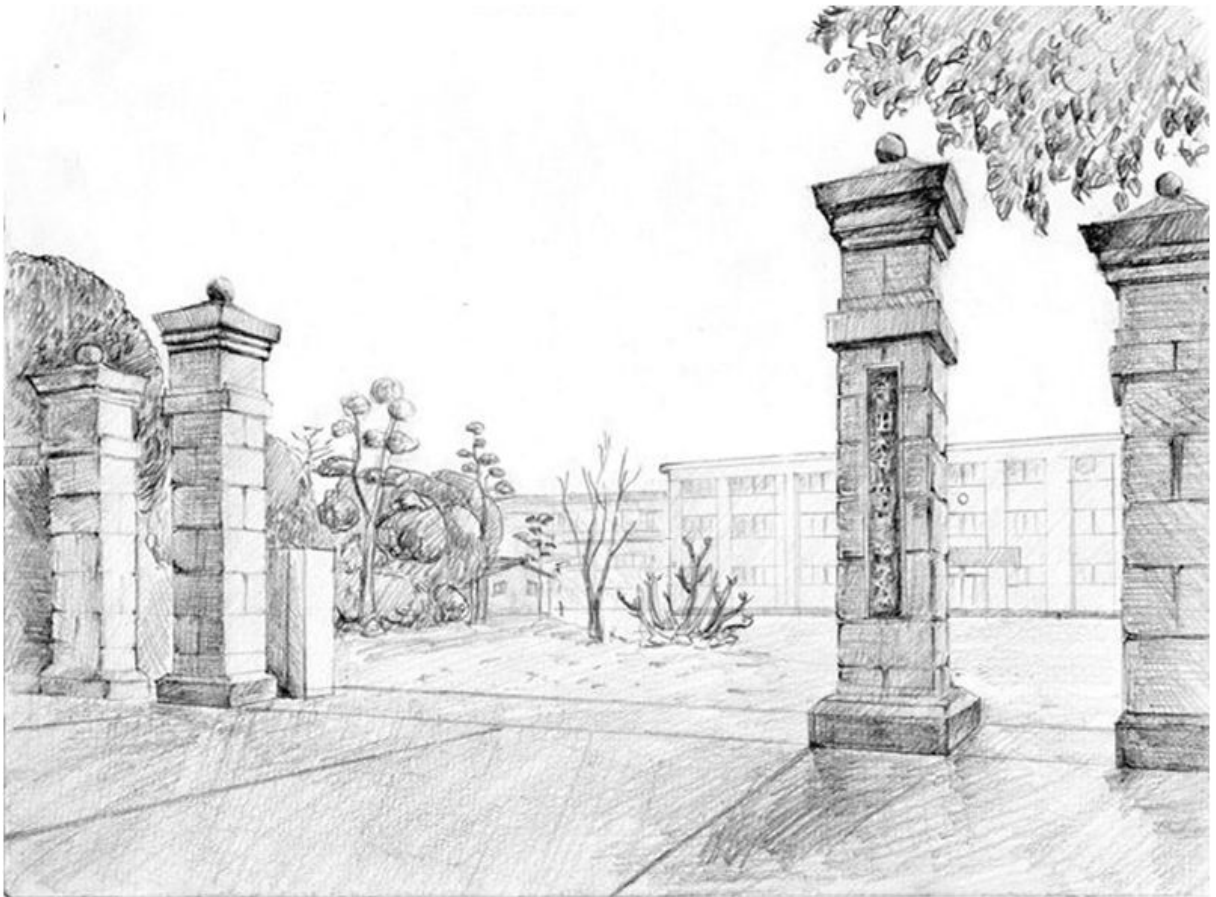


平成27・28年度

鹿児島県租税教育研究委嘱校 研究誌

# 租税教育の実際



平成28年11月25日（金）

出水市立出水中学校

# 目 次

<b>I</b>	<b>はじめに</b>	<b>1</b>
1	校区と学校の概要	2
(1)	校区の概要	
(2)	学校の概要	
<b>II</b>	<b>研究の概要</b>	<b>4</b>
1	研究主題について	5
(1)	研究主題	
(2)	主題設定の理由	
2	租税教育全体計画及び研究組織図	5
3	研究の経過及び予定	7
<b>III</b>	<b>平成27年度の取組</b>	<b>10</b>
1	アンケートの実施～生徒の実態把握～	11
2	各教科の取組	13
3	その他の取組	14
4	1年目の取組を終えて	15
<b>IV</b>	<b>平成28年度の取組</b>	<b>17</b>
1	アンケートの実施～生徒の実態把握～	18
2	各教科の取組	20
3	その他の取組	21
4	2年目を終えるにあたり	22
<b>V</b>	<b>研究の成果と今後の課題</b>	<b>24</b>
1	研究の成果	25
2	今後の課題	25
<b>VI</b>	<b>終わりに</b>	<b>26</b>
1	2年間の活動をふまえて	27
2	研究同人	27

# I はじめに

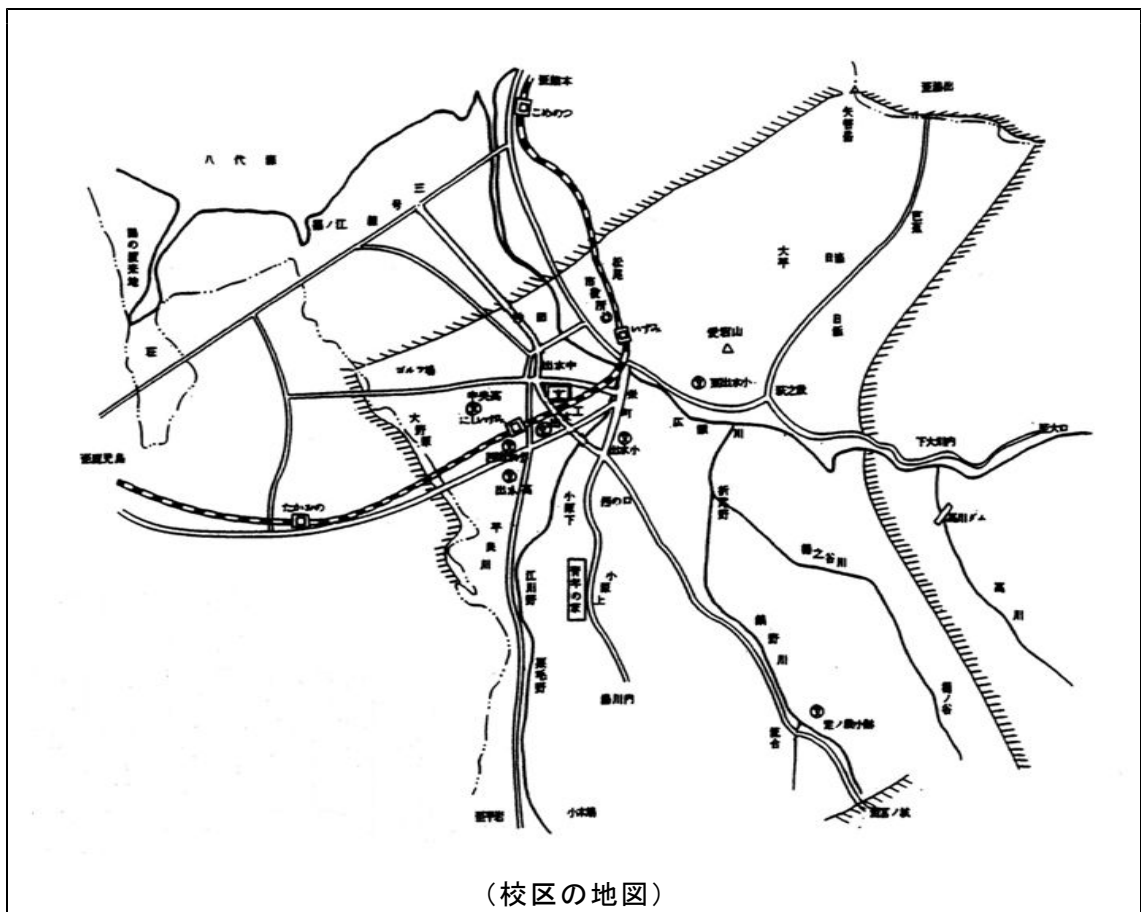
- 1 校区と学校の概要
  - (1) 校区の概要
  - (2) 学校の概要



# 1 校区と学校の概要

## (1) 校区の概要

薩摩半島北部にある出水平野の中心に位置する田園都市出水市は、毎年1万羽を超えるツルの飛来地として有名であり、税所邸や竹添邸などの武家屋敷群等と併せて観光都市としても、脚光を浴びている。

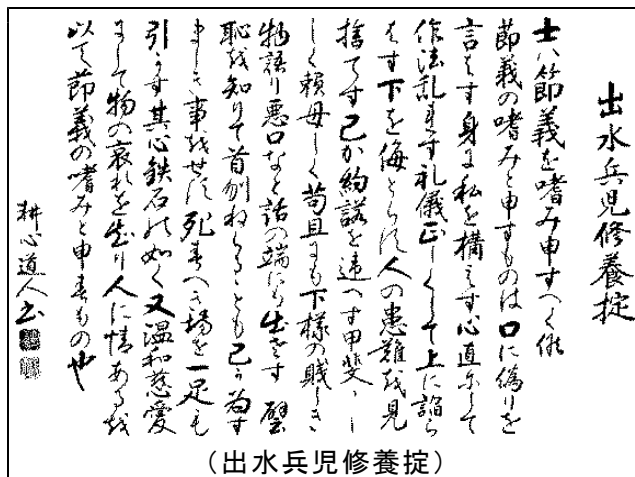


本校は、北緯32度05分・東経130度21分に位置し、旧出水町全域を校区とする。保護者や地域住民は、教育やスポーツへの関心が高く、生徒たちの様々な大会入賞を喜んでいる。これには、出水兵児の歴史的伝統が背景にあると思われる。

江戸時代の薩摩藩では、今の学校教育制度の代わりに、郷中教育で子どもたちの心身を鍛えていました。

今の小～中学2年生にあたる青少年を「兵児」、20歳までを「二才」と呼んで、年長者が各組を率いて、行われていました。

出水における郷中教育の掟が、出水兵児修養掟であり、武勇や信義を尊ぶ気風を養成しながら、「ものの哀れ」を求めています。



## (2) 学校の概要

本校は、生徒数660名（学級数21学級、ただし特別支援学級3学級を含む）、職員数62名の大規模校である。

平成28年度は、学校創立70周年を迎え、「正しい判断力と創造性を身につけ、確かな学力とたくましい体、思いやりの心をそなえた心身ともに健全な生徒を育成する。」という学校教育目標のもと、「気づき 考え 実行する 出水中」のスローガンにもとづいて、様々な活動に取り組んでいる。



(合唱コンクール)



(体育大会)

## Ⅱ 研究の概要

- 1 研究主題について
  - (1) 研究主題
  - (2) 主題設定の理由
- 2 全体計画及び研究組織図
- 3 研究の経過及び予定



## 1 研究主題について

### (1) 研究主題

租税教育を通して、租税に対する理解と興味・関心を深め、社会の一員として、主体的に社会に貢献しようとする態度や資質を育成する。

### (2) 主題設定の理由

21世紀は、新しい知識・情報・技術が、政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代であると言われている。このような知識基盤社会化やグローバル化は、アイデアなど知識そのものや人材をめぐる国際競争を加速させる一方で、異なる文化や文明との共存や国際協力の必要性を増大させている。このような状況において、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育むことが、ますます重要になっている。

次に、社会において、特に留意しなければならないのは、知識基盤社会化やグローバル化が進む時代にある今こそ、世界や日本に関する基礎的教養を培い、国際社会に主体的に生き、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成することである。そのためには、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得に努めるとともに、思考力・判断力・表現力等を確実に育むため言語活動の充実を図り、社会参画に関する学習を重視することが重要である。その際、今まで習得した概念を活用して、諸事象の意義を解釈させたり事象間の関連を説明させること、自分の考えを論述させたり、議論などを通して、お互いの考えを深めさせたりすることも重視しなければならない。

また、本校では、社会科が主体として、租税教育に取り組んできたが、生徒の税に関する興味・関心や知識・理解が向上しているとは感じられなかった。よって、社会科で実施する租税教室や税に関する学習、税に関する作文の応募を通してばかりではなく、国語科における税に関する習字作品の応募や美術科における税に関するポスターの応募、その他の教科においても、税に関して学習する機会を多く持つことで、幅広く税について学習することができ、知識や興味・関心が高まるのではないかと考え、この主題を設定したのである。

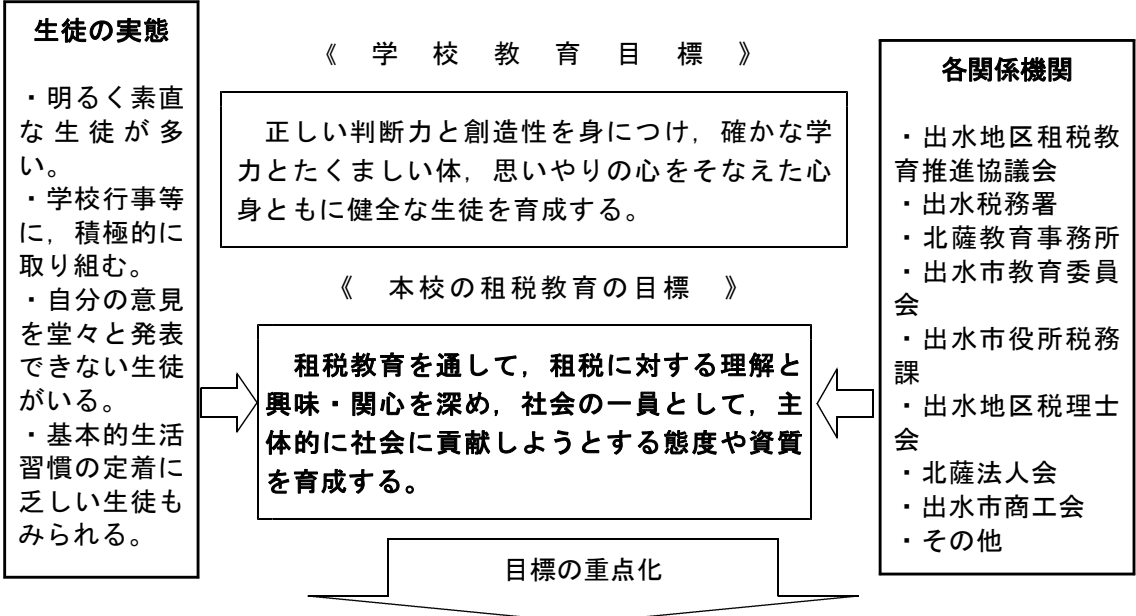
## 2 全体計画及び研究組織図

本校の租税教育全体計画については、委嘱校となることが内定した平成26年度末に策定した本校の租税教育の目標にもとづき、3つに重点化し、取り組むこととした。

1つ目は、教科学習を通して、租税に関する興味・関心を高めるとともに、正しい知識を身につけさせる。2つ目は、社会科での教科学習や道徳・学級活動などを通して、生徒たちに社会的な責任と義務について認識させる。3つ目は、道徳・学級活動などの教科外活動を通して、主体的に行動する態度を育成する。以上の3つである。

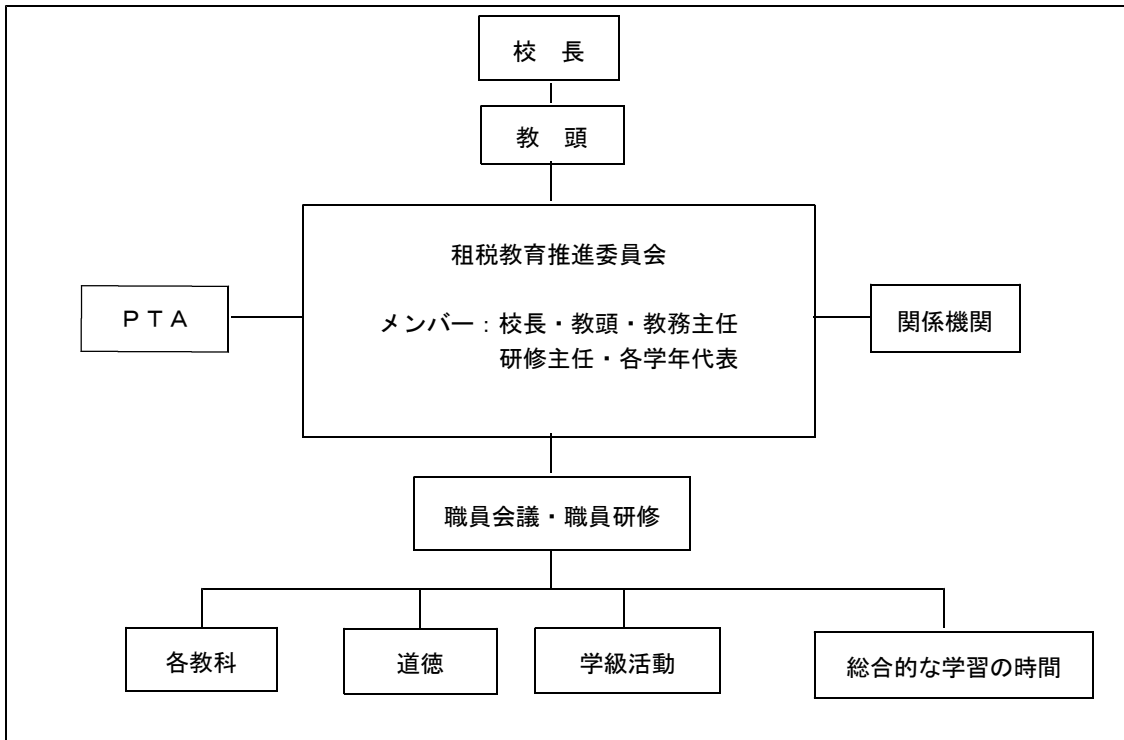
そこで、租税教育の推進にあたっての研究組織として、租税教育推進委員会を発足し、また、各校務分掌にもとづく役割分担を決め、企画・研究・広報担当の3つの役割分担を決めた。

# 平成27～28年度 租税教育全体計画



- ① 租税の意義と役割について、正しい知識を身につけさせ、租税に関する興味・関心を高める。  
(社会科を中心とした教科学習を通して)
- ② 将来を担う生徒たちに、社会の形成者としての社会的な責任と義務について認識させる。  
(道徳、学級活動、職場体験学習、社会科を通して)
- ③ 公共物や資源を大切に、主体的に行動する態度を育成する。  
(道徳、学級活動を通して)

## 推進にあたっての研究組織図





## 主な役割分担

### 企画担当

- ・ 租税教育に関する職員研修の実施にあたり、日程調整を行い、研修計画等を立てる。  
→ 研修主任，租税教育係
- ・ 消耗品等の購入にあたり、業者等の選定・見積もり等を依頼し、入札を行う。  
→ 租税教育係

### 研究担当

- ・ 各教科における租税教育の推進について、研修を深める。 → 各教科
- ・ 平成27年度は、国語・社会・美術・家庭で実施する。  
ただし、平成28年度は、その他の教科においても取り組むものとする。内容等について、各教科で研修を行う。 → 各教科
- ・ 税に関する道德及び学活を行うにあたり、道德主任及び学活担当と各学級担任で事前に打ち合わせを行う。 → 道德主任，学活担当，租税教育係
- ・ 総合的学習の中では、職場体験学習を主として取り組む。  
ただし、平成28年度は、租税教室を行うので、税務署等との打合せを行う。  
→ 総合的な学習の時間担当，3年部

### 広報担当

- ・ アンケートを取り、生徒の実態把握に努める。 → 社会科
- ・ 租税教育に関する掲示コーナーを設置し、掲示を行う。 → 掲示担当，租税教育係

## 3 研究の経過及び予定

平成27年度は、国・社・美・家の4教科での取組を基本としている。各教科の関連する単元の指導する時期にあわせて、租税教育を実施することにした。

平成28年度は、研修を深め、上記の教科以外（数・理・英・音・保体・技）にも、取組を広げていった。各教科について、どのような取組ができるか、職員研修で話し合いを行い、深めていった。

（税に関する習字：生徒作品）

青色  
申告  
出水中一年有村  
木花

## 平成27年度（研究委嘱1年目） 租税教育 活動内容

月	内 容
4	・研究委嘱校として、委嘱状を受け取る（担当：社会科）
5	・職員研修（模擬租税教室・校内組織編成，担当：租税教育係） ・「職場体験学習」（3年）
6	・租税教育の視点に立った授業（1年：身近な消費生活，担当：家庭科）
7	・租税教室（3年生対象）開催（講師：出水税務署，担当：社会科）
夏休み	・「税に関する作文」応募（3年のみ）→9月に出品（担当：社会科） ・「税に関するポスター」応募（1・2年）→9月に出品（担当：美術科）
9	・「税に関する習字」応募→9月に出品（担当：国語科） ・税に関するアンケートの実施（担当：社会科） ・租税教育の視点に立った授業 （2年地理：九州地方，1年歴史：奈良時代）実施（担当：社会科） ※1年歴史の授業は，校内研究授業として授業公開
10	・租税教育の視点に立った授業 （3年「ライフプランニング」）実施（担当：社会科）
11	・消耗品購入にあたっての業者見積書等の提出（担当：租税教育係） ・租税教育の視点に立った授業 （1年地理：アフリカ州，3年公民）実施（担当：社会科） ・県租税教育研究会出席（担当：租税教育係）
12	・税に関するアンケートの実施（担当：社会科） ・租税教育の視点に立った授業（2年歴史：江戸時代）実施（担当：社会科）
1	・租税教育の視点に立った授業 （1年道徳：傘の下）実施（担当：各学級担任） ・保護者向け租税教室の実施（担当：PTA研修部） ・職員研修（今年度のまとめ・次年度に向けて，担当：租税教育係） ・租税教育の視点に立った授業（2年歴史：明治時代）実施（担当：社会科）
3	・租税教育の視点に立った授業 （1年道徳：オーストリアのマス川）実施（担当：各学級担任）

（税に関する習字：生徒作品）

出  
水  
中  
二  
年  
高  
口  
小  
雪  
電  
子  
申  
告

## 平成28年度（研究委嘱2年目） 租税教育 年間活動内容

月	内 容
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修（各教科での取組について，担当：租税教育係）</li> <li>・「職場体験学習」（3年）</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税に関するアンケートの実施（担当：社会科）</li> <li>・租税教育の視点に立った授業（1年：身近な消費生活）実施（担当：家庭科）</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・租税教室（3年生対象）開催（担当：総合的学習の係）</li> <li>・租税教育の視点に立った授業（2年地理：九州地方）実施（担当：社会科）</li> <li>・「税に関する習字」応募→9月に出品（担当：国語科）</li> </ul>
夏休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「税に関する作文」応募（3年のみ）→9月に出品（担当：社会科）</li> <li>・「税に関するポスター」応募（1・2年）→9月に出品（担当：美術科）</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品購入にあたっての業者見積書等の提出（担当：租税教育係）</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修（研究冊子・発表内容について，担当：研修主任・租税教育係）</li> <li>・租税教育の視点に立った授業 （1年歴史：奈良時代，2年歴史：江戸時代）実施（担当：社会科）</li> <li>・租税教育の視点に立った授業（2年：外国の変わった税）実施（担当：英語科）</li> <li>・税に関するアンケートの実施（担当：社会科）</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・租税教育の視点に立った授業 （3年「ライフプランニング」，3年公民）実施（担当：社会科）</li> <li>・県租税教育研究会出席（担当：研修主任・租税教育係）</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・租税教育の視点に立った授業 （1年地理：アフリカ州，2年歴史：明治時代）実施（担当：社会科）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・租税教育の視点に立った授業 （1年道徳：傘の下）実施（担当：各学級担任）</li> <li>・租税教育の視点に立った授業 （3年理科：持続可能社会）実施（担当：理科）</li> </ul>

（税に関する習字：生徒作品）

出水  
中三年  
福島  
萌子  
納振  
税替

## Ⅲ 平成27年度の取組

- 1 アンケートの実施  
～生徒の実態把握～
- 2 各教科の取組
- 3 その他の取組
- 4 1年目の取組を終えて



## 1 アンケートの実施～生徒の実態把握～

本校では、2年間にわたり、組織的に租税教育を実践するにあたり、まず、生徒の実態をつかむために、アンケートをとることにした。アンケートの内容については、今後の変容をつかむことができるよう工夫した。

平成27年12月実施分のアンケート結果は、以下の通りである。

### 税に関するアンケート（平成27年12月実施分）の集計結果

#### 1 あなたは「税」について、興味・関心はありますか？（1つ○をつける）

	1年生	2年生	3年生
ア あります	5.9%	3.0%	11.8%
イ 少しはあります	55.9%	60.6%	38.2%
ウ あまりありません	14.7%	27.3%	41.2%
エ 全くありません	23.5%	9.1%	8.8%

#### 2 あなたは「税」について、家庭で話をしたことがありますか？（1つ○をつける）

	1年生	2年生	3年生
ア あります	8.8%	9.1%	14.7%
イ 少しはあります	35.3%	30.3%	41.2%
ウ あまりありません	23.5%	30.3%	29.4%
エ 全くありません	32.4%	30.3%	14.7%

#### 3 いつ「税」について学習したか、覚えていますか？（あてはまるものに○をつける）

	1年生	2年生	3年生
ア 小6の社会の授業	19人	9人	3人
イ 小学校での租税教室	25人	9人	2人
ウ 中1の歴史の授業	34人	33人	5人
エ 中2の歴史の授業		33人	22人
オ 中3の公民の授業			29人
カ 中学校での租税教室			31人

（※ アンケート実施時…1年生34人、2年生33人、3年生31人）

#### 4 あなたは、税を納めることに対して、どのように思いますか？（1つ○をつける）

	1年生	2年生	3年生
ア 当然納めるべきである	2.9%	18.2%	41.2%
イ 仕方ないが納めるべきである	61.8%	36.4%	41.2%
ウ 納める必要はない	2.9%	6.1%	2.9%
エ 納めても納めなくてもいい	2.9%	15.2%	02.9%
オ 分からない	29.4%	24.2%	11.8%

5 税にはどのような種類がありますか？知っている税に○をつけなさい。

	1年生	2年生	3年生
ア 所得税	67.6%	54.5%	82.4%
イ 法人税	11.8%	9.1%	23.5%
ウ 相続税	35.3%	30.3%	47.1%
エ 贈与税	2.9%	6.1%	14.7%
オ 消費税	100%	100%	100%
カ 酒税	23.5%	24.2%	82.4%
キ たばこ税	29.4%	27.3%	79.4%
ク 関税	23.5%	18.2%	52.9%
ケ 住民税	67.6%	39.4%	47.1%
コ 自動車税	50.0%	36.4%	41.2%
サ 固定資産税	29.4%	36.4%	32.4%
シ 入湯税	11.8%	6.1%	11.8%

上のア～シ以外に、あなたの知っている税があったら、書いて下さい。

1年生	2年生	3年生
(記入無し)	(記入無し)	(記入無し)

6 皆さんが納めた税は、どんなものに使われていると思いますか？思われることを書いて下さい。

1年生	2年生	3年生
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの教科書 …16人</li> <li>・学校の建設費 …11人</li> <li>・公園の整備 …7人</li> <li>・公務員の給料 …4人</li> <li>・国の仕事 …4人</li> <li>・市の仕事 …2人</li> <li>・道路工事 …2人</li> <li>・国立競技場建設…2人</li> <li>・年金 …2人</li> <li>・国会議員の給料…1人</li> <li>・災害援助 …1人</li> <li>・選挙 …1人</li> <li>・消防 …1人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの教科書 …21人</li> <li>・公務員の給料 …5人</li> <li>・道路整備 …5人</li> <li>・公共施設の建設…3人</li> <li>・国会議員の給料…3人</li> <li>・救急車 …3人</li> <li>・国の運営 …2人</li> <li>・年金 …2人</li> <li>・道路工事 …1人</li> <li>・学校の建設 …1人</li> <li>・市役所の建設 …1人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの教科書 …16人</li> <li>・福祉 …13人</li> <li>・社会資本整備 …12人</li> <li>・公務員の給料 …10人</li> <li>・警察・消防 …8人</li> <li>・学校 …3人</li> <li>・病院 …3人</li> <li>・年金 …3人</li> <li>・借金の返済 …1人</li> <li>・発展途上国支援…1人</li> <li>・国立競技場建設…1人</li> </ul>

アンケートの結果、安倍内閣の「消費税増税の是非」が影響したからか、「消費税」についての認識が高い。また、保護者が飲酒・喫煙している家庭では、「タバコ税」や「酒税」についても高く、温泉に行く生徒は、「入湯税」についても認識している。また、税金が公務員の給料にのみ使われているという誤った認識をしている生徒もあり、「仕方なく納めている」という否定的納税感と同様、納税者としての正しい認識・理解を深めていく必要があることが分かった。

## 2 各教科の取組

### (1) 国語科

国語科では、かねてから1学期末または2学期初めに、書写を行ってきたが、今年度から「税に関する習字」に取り組むこととした。1年生は「青色申告」、2年生は「電子申告」、3年生は「振替納税」という語句を書くのであるが、生徒たちにとっては、身近な言葉ではないので、その言葉の意味を前もって説明した。

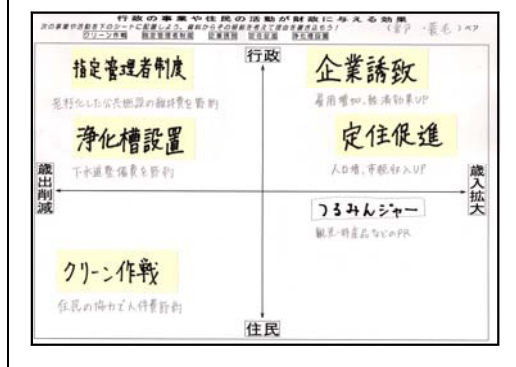
### (2) 社会科

#### ① 3年生に対して

7月7日、出水税務署から講師を招き、租税教室を実施した。社会科担当と生徒有志によるロールプレイ(寸劇)や、生徒代表によるシンポジウムを行った。

講師の方からは、消費税をはじめ、さまざまな税について教えていただいた。これをふまえて、夏休みに「税に関する作文」を書く取り組みを行った。

11月6日には、財政との関わりで税に関する認識を問う授業を行った。市の事業に税が使われていることを理解した上で、税の無駄遣いに対する意見等をふまえ、財政の健全化のために、行政が自主財源の確保に向けて取り組んでいることや、住民の工夫・努力によって歳出削減になることなどを学習した。



#### ② 1・2年生に対して

3年生は、公民的分野の中で、租税について扱う内容があるので、租税教育に取り組やすい状況にあるのだが、今年度からは、1・2年生に対しても、租税教育の視点に立って、地理的分野及び歴史的分野の授業を実施した。

9月24日に行った1年生の授業(歴史的分野:奈良時代)は、校内研究授業として位置付けし、市教育委員会指導主事を指導助言者として招聘し、今後の租税教育の推進にあたり、指導助言を賜った。

### (3) 美術科

美術科では、夏休み課題の一つとして、「税に関するポスター」を描く取組を実施した。その際、税の使われ方等について、簡単ではあるが授業で説明した。

#### (4) 家庭科

家庭科では、1年生において、6月に租税教育の視点に立って、「身近な消費生活」についての授業を実施した。

### 3 その他の取組

#### (1) 租税教育コーナーでの掲示

生徒たちに対して、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務についても、理解させなければならない。そこで、授業を通してだけでなく、掲示教育の観点から、本校舎2階（後期は南校舎1階）及び新校舎1階に租税教育コーナーを設置し、税金の使い方や税務署の仕事内容など税に関する話を掲示した。



#### (2) N I Eの取り組み

元中学校の国語教諭で、現在、読売新聞東京本社でN I E企画デザイナーをされている鹿野川喜代美さんによると、

『学校の学びを、社会生活に生かせる力にするためには、情報満載の新聞は欠かせない。新聞に親しむことから始めることで、教科書では、なかなか学習に興味を示さなかった子どもが、話題のきっかけをつかみ、意欲的に取り組み始める。』

とのことなので、租税教育の視点に立って、子どもたちに社会の一員としての自覚を持たせることをねらいとして、N I Eに取り組むことにした。



そこで、1年生を中心に、家庭学習の取り組みとして、NIEワークシートを活用し、あわせて、NIEの掲示も行うこととした。



(NIEワークシートの一部(左)とNIE掲示コーナー(右))

### (3) PTAとの連携

生徒たちに対して、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務についても、理解させなければならない。そして、子どもたちにとって、身近な納税者である保護者に対して、租税教育を行う必要があるのではないかと考え、保護者を対象とした租税教室を実施した。



#### <保護者向け租税教室に参加して～保護者の感想～>

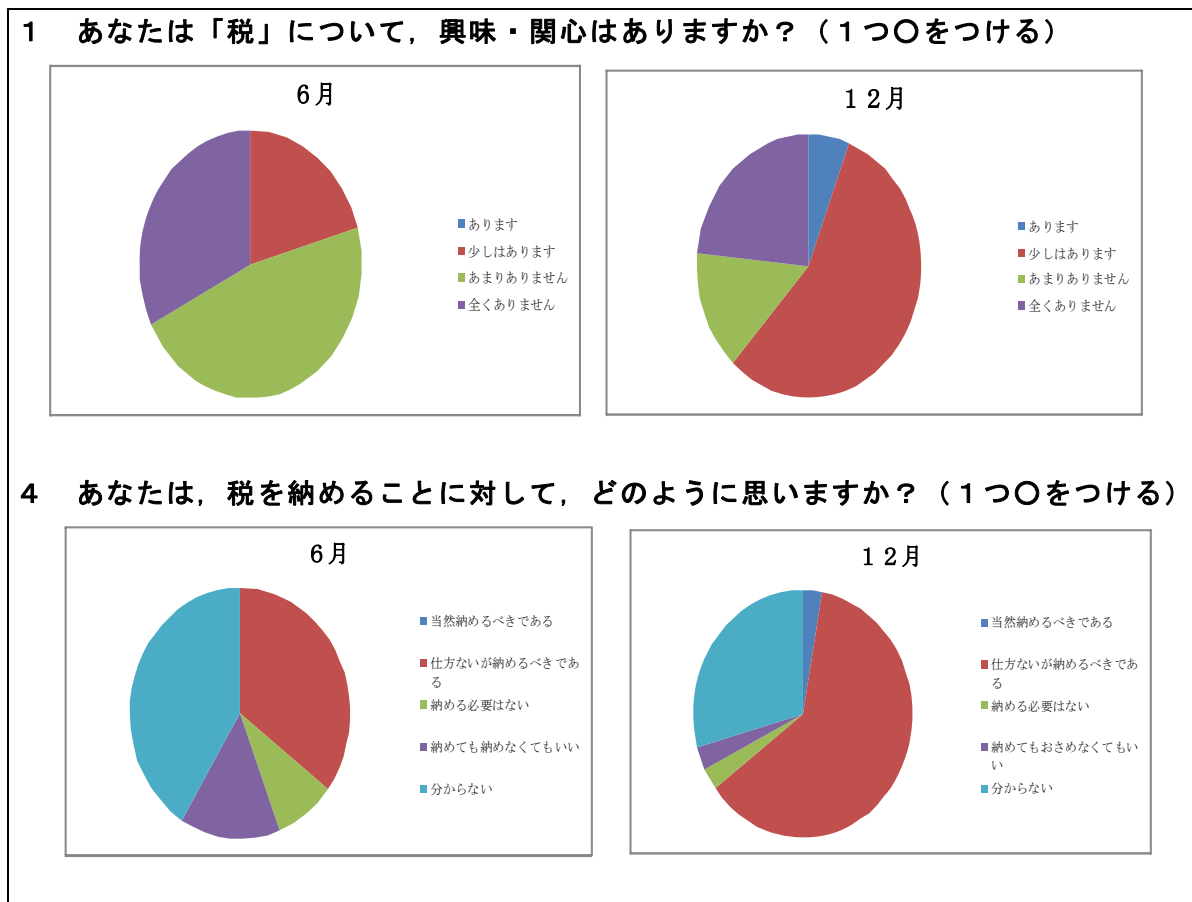
- ・ 普段、関わりのない税の話について、難しい話だと思っていましたが、少しわかってきました。
- ・ タイムリーなマイナンバーの話が聞けて、良かったです。消費税率が10%になるのか、軽減税率について、もっと話を聞きたかったです。
- ・ 税について詳しく知ることができました。知らない事ばかりで勉強になりました。もらった資料を、もう一度読み直してみます。
- ・ 税は、どうしても難しいイメージがあるので、子どもの頃から、身近なものになっていれば、その大切さが分かると思います。だから、中学校での租税教育はありがたいと思います。

## 4 1年目の取組を終えて

以上のような取組を行った結果、生徒がどのように変容したのかアンケートを取り、分析した。

ここに、1年生における2回のアンケート結果があり、それを比較すると、以上のような取組の結果、生徒たちの「税」に関する興味・関心は高まり、また、家庭でも話題にあがっている。「税金」は、「取られるもの」というマイナスイメージがだいぶ少なくなり、逆に、「自分たちが納めた」税金によって、自分たちが支えられているという認識が強くなってきている。このことは、税金の使い途をたずねるアンケートの回答に

も表れている。



取り組みの反省としては、次のような点があげられた。

- ・ アンケートをすることにより生徒の税に対する意識がどの程度なのか知ることができた。もっと意識が高くなるような取組をするにはまだまだ工夫が必要である。
- ・ 1年目は4教科にとどまったので、2年目は全教科で取り組めるよう年度初めには計画を組む必要がある。
- ・ 家庭教育学級における租税教室の実施で、保護者の租税に関する意識の向上を図ることができた。
- ・ 租税の掲示板に興味深く見ている生徒が多数いた。リニューアルして保護者にも見てもらうようにしたい。

以上の点を踏まえ、平成28年度は、委嘱2年目として、国・社・美・家の4教科以外の教科においても租税教育を実施するよう計画し、保護者への広報活動も行い、租税に対する興味・関心がより一層高まるよう取り組んでいくこととした。

## IV 平成28年度の取組

- 1 アンケートの実施  
～生徒の実態把握～
- 2 各教科の取組
- 3 その他の取組
- 4 2年目を終えるにあたり



## 1 アンケートの実施～生徒の実態把握～

昨年度の取組を通して、生徒たちは、少しではあるが変容が見られた。そこで、研究委嘱2年目にあたり、新入生の実態を把握するために、アンケートを実施した。

2年間に及ぶ研究委嘱であるので、アンケートの質問項目は、生徒の変容が容易につかめるようにと、前年度と同じとした。

6月に、1年生で実施したアンケートの集計結果は、以下の通りである。

### 税に関するアンケート（平成28年度・第1回）の集計結果

#### 1 あなたは「税」について、興味・関心はありますか？（1つ○をつける）

	1年生
ア あります	6.5%
イ 少しはあります	54.8%
ウ あまりありません	29.0%
エ 全くありません	9.7%

#### 2 あなたは「税」について、家庭で話をしたことがありますか？（1つ○をつける）

	1年生
ア あります	6.5%
イ 少しはあります	58.0%
ウ あまりありません	32.3%
エ 全くありません	3.2%

#### 3 いつ「税」について学習したか、覚えていますか？（あてはまるものに○をつける）

	1年生
ア 小6の社会の授業	24人
イ 小学校での租税教室	22人
ウ 中1の歴史の授業	
エ 中2の歴史の授業	
オ 中3の公民の授業	
カ 中学校での租税教室	
キ 中学校での校外学習	

（※ アンケート実施時…1年生31人）

#### 4 あなたは、税を納めることに対して、どのように思いますか？（1つ○をつける）

	1年生
ア → 当然納めるべきである	58.1%
イ → 仕方ないが納めるべきである	38.7%
ウ → 納める必要はない	0.0%
エ → 納めても納めなくてもいい	0.0%
オ → 分からない	3.2%

アンケートの結果、安倍内閣の「消費増税についての判断」が影響したからか、昨年度と同様に、「消費税」についての認識が高い。会社を営んでいる保護者がいる家庭では、法人税や関税などの認識がある。あまり家族で温泉に行かないのか、「入湯税」は0%であった。昨年度、小学校において、租税教室を実施したのか、「仕方なく納めている」という否定的納税感が減少し、「当然納めるべきである」という肯定的納税感が増えている。

5 税にはどのような種類がありますか？知っている税に○をつけなさい。

	1年生
ア → 所得税	77.4%
イ → 法人税	29.0%
ウ → 相続税	35.5%
エ → 贈与税	6.5%
オ → 消費税	100%
カ → 酒税	19.4%
キ → たばこ税	22.6%
ク → 関税	45.2%
ケ → 住民税	67.7%
コ → 自動車税	45.2%
サ → 固定資産税	32.3%
シ → 入湯税	0.0%

上のア～シ以外に、あなたの知っている税があったら、書いて下さい。

1年生
(記入なし)

6 皆さんが納めた税は、どんなものに使われていると思いますか？思われることを書いて下さい。

1年生	
・道路工事	…11人
・公共施設	…8人
・消防	…7人
・自分たちの教科書	…5人
・学校・校舎	…4人
・公務員の給料	…4人
・警察	…2人
・公園	…2人
・高速道路の建設	…1人
・福祉	…1人
・国の借金返済	…1人

## 2 各教科の取組

### (1) 国語科

国語科においては、平成27年度から、「税に関する習字」を書かせてきた。

今年度も、7月上旬に、全学年において、「税に関する習字」を書かせる取組を行った。1年生は「青色申告」、2年生は「電子申告」、3年生は「振替納税」という語句を書くのであるが、生徒たちにとっては、身近な言葉ではないので、その言葉の意味を前もって説明した。

### (2) 社会科

#### ① 1・2年生に対して

昨年度から、1・2年生に対しては、租税教育の視点に立った地理的分野・歴史的分野の授業を行っている。今年度も、該当単元で実施している。

#### ② 3年生に対して

7月上旬、総合的な学習の時間に、出水税務署から講師を招いて行われた租税教室での学習内容をもとに、夏休み課題の一つとして、「税に関する作文」に取り組んだ。

### (3) 理科

理科における「税に関する取組」について、多くの学校で、保護者の負担する税金で教材備品が購入されていること以外にも、地球温暖化とそれを防止するための環境税についての取り組みがなされている。そこで、本校でも、3年生を対象に、3学期に授業を行う予定である。

### (4) 英語科

10月6日、2年生を対象に、外国のいろいろな税についての授業を行った。

日本は、アメリカよりも消費税率が低く、また、州によっても税率が異なること、食料品には消費税がかからないことや、世界各地の変わった税について学習した。

### (5) 美術科

美術科は、昨年度からの取組を継続させ、1・2年生において、「税に関するポスター」を描かせる取組を実施した。

### (6) 家庭科

家庭科では、昨年度に引き続き、1年生において、6月に、「身近な消費生活」について授業を行った。

(7) 総合的な学習の時間における租税教室の実施

7月19日、出水税務署から講師を招き、3年生対象の租税教室を実施した。DVD視聴のあと、身近な税と税金の種類、税金の使われ方などについて学習した。



3 その他の取組

(1) 租税教育コーナーでの掲示

生徒たちに対しては、租税教育の基幹教科である社会科の授業を通してだけではなく、その他の教科・領域での学習を通して、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務についても、理解させなければならない。そこで、昨年度に引き続き、租税教育コーナーを新校舎1階に設置し、税金の使われ方や税の歴史など税に関する話を掲示した。



(左：前期掲示分、右：後期掲示分)

(2) N I Eの取り組み

昨年度に引き続き、租税教育の視点にたって、子どもたちに社会の一員としての自覚を持たせるために、N I Eに取り組むことにした。

そこで、1年生を中心に、家庭学習の取り組みとして、N I Eワークシートを活用し、あわせて、N I Eの掲示も行うこととした。



(N I Eワークシートの一部)



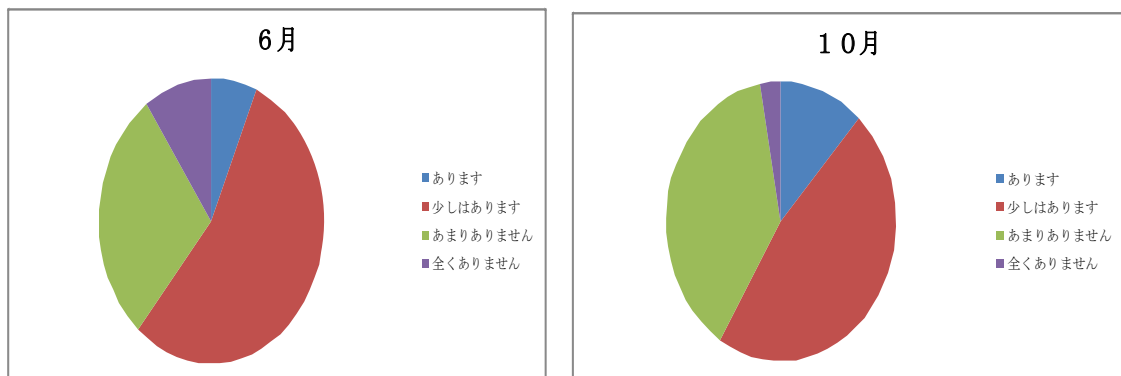


#### 4 2年目を終えるにあたり

以上のような取組を行い、委嘱2年目が終わろうとしているが、生徒はどのように変容したのか、アンケートを取り分析してみた。

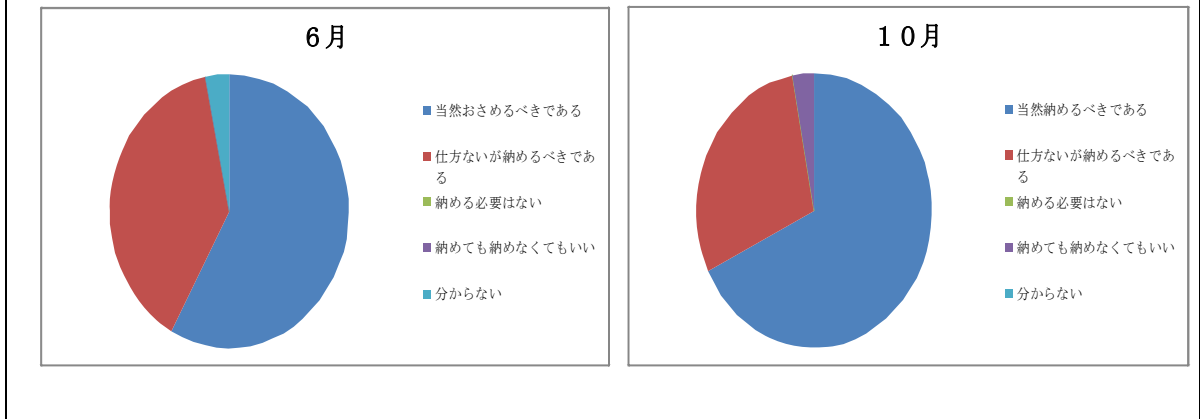
ここに、1年生における2回のアンケート結果がある。それを比較すると、昨年度と同様に、生徒たちの「税」に関する興味・関心は高まり、家庭でも税についての会話がなされている。「税金＝取られるもの」というマイナスイメージはかなり少なくなり、逆に、「自分たちが納めた」税金によって、自分たちが支えられているという認識が強くなってきている。このことは、「税金は、わたしたちの生活を支える会費」であることへの認識が深まってきたと言える。

#### 1 あなたは「税」について、興味・関心はありますか？（1つ○をつける）





4 あなたは、税を納めることに対して、どのように思いますか？（1つ○をつける）



今年度の取り組みの反省として、次のような点があげられた。

- ・ 同じ1年生でも、生徒の税に対する意識が全然違うことを、知ることができた。
- ・ 2年目は全教科で取り組めるようにしたが、なかなかうまくいかなかった。
- ・ 租税コーナーが1か所になったが、できれば各学年に設置したかった。



(税に関するポスター：生徒作品)

## V 研究の成果と課題

- 1 研究の成果
- 2 今後の課題



## 1 研究の成果

平成27年度から2年間にわたる県租税教育研究委嘱校としての取組を通して、本校の租税教育の目標である「租税教育を通して、租税に対する理解と興味・関心を深め、社会の一員として、主体的に社会に貢献しようとする態度や資質を育成する」ことをめざしてきた。各教科における取組では、生徒たち一人一人の税に関する興味・関心を高めることや、税の役割や重要性を理解させることを目標にし、教科以外の学級活動・道徳・総合的な学習の時間における取組では、租税に関する学習を新たに単元化することなく、従来の単元の中で関連づけて取り組んできた。

今までの4回実施したアンケートをもとに考察すると、生徒たちの「税」に関する興味・関心は高まり、「税金」は、「取られるもの」という否定的納税感がだいぶ少なくなり、逆に、「自分たちが納めた」税金によって、自分たちが支えられているという認識が強くなってきている。そのことから、「税金は、わたしたちの生活を支える会費」であることが、生徒に深く浸透してきた成果であると言える。

また、保護者向けの租税教室を開催したことで、保護者の中にも、「税金」は「取られるもの」という否定的納税感が減少してきている。また、教職員も一緒に、税について取り組んだことにより、自分たちの身の回りにあるさまざまな物が、自分たちの納めている税金によってまかなわれていることを改めて認識することができた。保護者向けの租税教室に参加した保護者の中には、各家庭で、子どもとの間で、税に関する会話も増え、それがアンケート結果にも現れている。租税教育を全教科で取り組んだことで、生徒・保護者・教職員の税に対する意識の向上へとつながった。

## 2 今後の課題

今後の課題としては、生徒の税に関する知識をさらに増やす手立てを行うことと、保護者に対する取組を行っていきたい。また、地域との関わりという観点から、地域とともに税を学び発信する取組を始めてみたい。

本校の租税教育を推進するにあたり、目標を3つに重点化したが、3つ目の道徳・学級活動などの教科外活動を通して、主体的に行動する態度を育成することについては、租税教育が公民教育・人間教育へとつながっていくことを考えると、今後の課題として、さらに研究を深め、実践に取り組んでいきたいと考えている。

## VI 終わりに

- 1 2年間の活動をふまえて
- 2 研究同人



## 1 2年間の活動をふまえて

平成27年度から2年間にわたる県租税教育研究委嘱校としての取組を通して、本校の租税教育の目標である「租税教育を通して、租税に対する理解と興味・関心を深め、社会の一員として、主体的に社会に貢献しようとする態度や資質を育成する」ことをめざしてきた。各教科における取組では、生徒たち一人一人の税に関する興味・関心を高めることや、税の役割や重要性を理解させることを目標にし、教科以外の学級活動・道徳・総合的な学習の時間における取組では、租税に関する学習を新たに単元化することなく、従来の単元の中で関連づけて取り組んできた。

本校の租税教育の研究・実践にあたっては、出水地区租税教育推進協議会、出水税務署など、多くの関係機関のご協力をいただいた。専門的な立場から、税に関する知識や税に関する仕組みなどを丁寧に教えていただいたことで、生徒たちの税に関する興味・関心を高め、理解を深めることができたと思われる。関係機関の方々には感謝を申し上げます。

## 2 研究同人

平成27年度		平成28年度	
校長	小川 茂	校長	林 博光
教頭	吉元 利裕	教頭	吉元 利裕
国語科	穂田美奈子, 高田百香里 中尾真由子, 宮内 征人 山下 政幸	国語科	穂田美奈子, 今村 佑美 江野 誠一, 高田百香里 中尾真由子, 山下 政幸
社会科	佐藤 貴紀, 中村 郁美 福留 佑一, 松尾 郷志	社会科	佐藤 貴紀, 中村 郁美 福留 佑一, 松尾 郷志
数学科	川元 善成, 芝 俊明 園田 征紀, 森重 浩司 山元 一利, 鍋田 希未	数学科	大迫 剛, 芝 俊明 園田 征紀, 西村かおり 鍋田 希未, 福浦 彩子
理科	石田 頼亮, 梅木 秀一 鳥越 菜穂, 山口 広海	理科	池田 芳弘, 梅木 秀一 鳥越 菜穂, 山口 広海
英語科	大城 浩, 児玉 衣代 寺村 優子, 中村 健太 前蘭 成美, 山口 優子 久保由紀子	英語科	大城 浩, 児玉 衣代 寺村 優子, 中村 健太 前蘭 成美, 松元いづみ 山口 優子
音楽科	橋口 通	音楽科	橋口 通
美術科	杉田 直, 横山 一郎	美術科	杉田 直, 横山 一郎
保健体育科	広島新治郎, 弥栄 敏郎 宮脇 征治, 溝口裕佳子	保健体育科	川野 千愛, 広島新治郎 弥栄 敏郎, 宮脇 征治
技術家庭科	塗木 里奈, 鷺見 壮一	技術家庭科	塗木 里奈, 鷺見 壮一
特別支援	松岡 美幸, 山田さゆり 島井亜衣美	特別支援	松岡 美幸, 山田さゆり 島井亜衣美
養護教諭	住吉真希子, 湯川 美紀	養護教諭	京田小百合, 湯川 美紀
事務職員	元山 和洋, 別府 愛美	事務職員	元山 和洋, 別府 愛美
栄養教諭	中島 香子	栄養教諭	中島 香子
市費職員	松元 美保, 山田 健二 大堀 史子, 下垣 里子 濱崎みどり, 樋口貴代美 福田 綾美, 松井 成美 渡邊 和栄, 堀切 恵子 山崎 暁子, 濱田 君子 田口 廣昭	市費職員	川口 孝久, 池畑 明美 下垣 里子, 鮫島 恵美 川淵 実香, 樋口貴代美 松井 成美, 渡邊 和栄, 堀切 恵子, 濱田 君子 谷川 浩, 松元 美保 山崎 暁子, 溝口裕佳子